



INTERNATIONAL
CO-OPERATIVE
ALLIANCE

Route des Morillons 15
1218 Grand-Saconnex
Geneva
Switzerland

Tel: (41 22) 929 88 38
Fax: (41 22) 798 41 22
E-mail: ica@ica.coop
Website: www.ica.coop

国際協同組合同盟（ICA）メッセージ

第87回ICA国際協同組合デー／第15回国連協同組合同盟デー
2009年7月4日

「協同組合的アプローチによる危機の克服」

国際労働機関（ILO）からICAに委託された最近の調査によれば、協同組合は他の事業形態より危機に対する対応力が優れているといわれています¹。金融協同組合は健全な財務状態を維持しています。世界各地の農業協同組合は黒字を計上しています。消費者協同組合は収益を伸ばしています。労働者協同組合は事業を拡大しています。人々は新たな経済的現実に対応するため、ますます協同組合方式の事業形態を選択するようになっていきます。

なぜ協同組合は生き残り、危機を乗り越え成長していくのでしょうか。

それはビジネスモデルにあります。協同組合方式の事業体は、利益に焦点を合わせるのではなく、協同組合の価値と原則に基づいて事業運営を行いつつ、人々の市場パワーを集めることによって人々に焦点を合わせる代替的なビジネスモデルなのです。

世界中の多くの国と分野で、協同組合方式の事業体は会員数、資本、収益を伸ばしています。協同組合は新規雇用の維持と創出に、そして家族の収入確保に、多大の貢献をしています。協同組合は、物価が妥当な水準にとどまるよう、また、消費者向けの小売商品や食料、サービスが安全性、信頼性、高品質を維持できるよう、努めています。信用組合、協同組合銀行、協同組合保険者の安全性と信頼性に対する消費者の認識の高まりとともに、協同組合方式の金融機関に資金が流入しています。それらは、多くの場合、個人や中小企業への信用供与も引き続き行っています。こうした活動により、協同組合は、協同組合方式のビジネスが持続可能であること、また、倫理的価値を中核に置く事業体が成功を収め、持続可能な景気回復に貢献できるということを実証しています。

エコノミスト、学会、国際社会はどうすれば世界的な景気回復を刺激できるか必死に回答を求めており、その中で、政策立案者や一般市民の信頼を失っている現在の経済モデルに疑問を抱き始めています。彼らはより倫理的で透明性の高い事業運営を確保するため、特に市場と金融機関を規制することに目を向けています。しかし、そうした模索の中で、彼らは新たな経済システムに大きく貢献する協同組合の潜在的可能性についても再発見し、認識するようになっていきます。

¹ Birchall, Johnston and Hammond, Lou. *Resilience of the Co-operative Business Model in Times of Crisis*, p. 37、国際労働機関、2009年

多くの国の政府は今やこの新たな経済環境の中で、農業の生産性を刺激するためにしろ、米国の医療制度改革や医療協同組合創設案に関する最近の論議に見られるような国の社会保障制度を再編するためにしろ、協同組合という選択肢を検討するようになっていきます。各国政府は、協同組合が自国の景気回復の推進に貢献し得ることも認識しており、そのためにますます自国の国民が家計、生産性の向上、全般的な福祉に関して協同組合方式の事業体に目を向けるよう奨励しています。

協同組合運動は政策立案者と連携し、協同組合の特性に対する彼らの認識を高める必要があります。協同組合を過剰に規制すべきではなく、その本質的にリスクを忌避する性格について理解を深めるべきです。協同組合が規制環境の変化による不利を被らないようにする上で、一貫性のある明瞭な政策は極めて重要です。適切な政策が行われて初めて協同組合は今後も世界的な景気回復を推進できるのです。

世界経済は最悪期を脱し、今年末には回復に転じるとの見方も出ていますが、景気後退（リセッション）はすべての事業体に影響を及ぼしており、今後も影響を及ぼすでしょう。多くの協同組合はどのような犠牲を払っても - 協同組合の性格を捨ててまでも - 生き残ろうとする誘惑に駆られるでしょうが、協同組合の価値と原則を実践することが長期的な持続可能性を確保する決定的な要因であることはいよいよはっきりしてきています。今こそ協同組合の特性を強調すべきなのです。

協同組合運動にはまたとない好機が訪れています。協同組合運動は困難に立ち向かい、その事業モデルが将来におけるより優れた代替ビジネスモデルであることを実証しなければなりません。協同組合は、経済発展ばかりでなく、経済と政治の民主主義や社会的責任も推進することを証明しつつあります。協同組合は、社会的および環境的な価値を重視する、より公正な事業運営方法を提供するものであり、それはできるならばするというものではなく、はっきりと事業方法の一部になっているものなのです。

第 87 回国際協同組合デーにあたり、ICA は世界各国の協同組合人に対し、協同組合の価値と原則への取り組みを強化し、この困難な時期における成功を祝福し、互いに連携して今後も世界の景気回復を推進していくよう、呼びかけます。

1895年ロンドンに設立された国際協同組合同盟（ICA）は独立の非政府組織（NGO）。協同組合の国際機関として、各協同組合を取りまとめ、代表者として活動する。あらゆる産業の協同組合の全国組織が加盟。現在、ICAの加盟組織は85カ国に223団体あり、傘下の組合員は世界全体で8億人を超える。